

◎査証料の免除及び数次査証の付与に関する日本国
政府とスウェーデン政府との間の取極（口上書）

（略称）スウェーデンとの査証取極

昭和四十五年十月二十三日 東京で
昭和四十五年十一月二十四日 告示

昭和四十五年十二月一日 効力発生
（外務省告示第二五〇号）

目 次

ページ

日本側口上書	七二一
1 査証料の免除及び数次入国査証の付与	七二一
2 査証等の免除	七二一
3 終了の通告	七二一
スウェーデン側口上書	七二一
1 査証料等の免除及び数次入国査証の付与	七二一
2 査証等の免除	七二一
3 終了の通告	七二一

(外務省から在日本国スウェーデン王国大使館あての口上書)

(訳文)

口 上 書

外務省は、スウェーデン王国大使館に敬意を表するとともに、日本国政府は、千九百七十年十二月一日から、有効なスウェーデン旅券を所持するスウェーデン国民について、次の措置を適用することを同大使館に通報する光榮を有する。

一 査証が必要とされかつ付与されるときは、その査証は、無料であるものとし、かつ、発給の日から十二箇月の期間内のいかなる回数の入国についても有効であるものとする。ただし、日本国政府は、個別の場合において、一回限りの入国について有効な査証を付与する権利を保有する。

二 数次査証を付与されたスウェーデン国民は、その査証が有効である期間中は、特別な許可又は査証を取得することを要求されることなく、日本国へのいかなる回数の入国についても権利が与えられる。

三 日本国政府は、前記のことを終了させることを希望する場合には、スウェーデン政府に対して書面による一箇月の予告を与える。

千九百七十年十月二十三日に東京で

(Japanese Note)

The Ministry of Foreign Affairs presents its compliments to the Royal Swedish Embassy and has the honour to inform the Embassy that the Government of Japan will apply from December 1, 1970, the following measures with respect to Swedish nationals holding valid Swedish passports:

1. Visas, when required and granted, shall be free of charge and valid for any number of entries within twelve months from the date of issue, provided that the Government of Japan retains the right to grant visas valid for a single entry in particular cases.

2. Swedish nationals who have been granted multiple visas shall be entitled to any number of entries into Japan during the period for which the visa is valid without being required to obtain special permits or visas.

3. The Japanese Government, in case it wishes to terminate the foregoing, will give one month's written notice to the Government of Sweden.

Tokyo, October 23, 1970.

(在日本国スウェーデン王国大使館から外務省あての口上書)

(訳文)

口 上 書

スウェーデン王国大使館は、外務省に敬意を表するとともに、スウェーデン政府は、千九百七十年十二月一日から、有効な日本国旅券を所持する日本国民について、次の措置を適用することを外務省に通報する光榮を有する。

一 滞在許可又は査証が必要とされかつ付与されるときは、その滞在許可又は査証は、無料であるものとし、かつ、発給の日から少なくとも十二箇月の期間有効であるものとする。ただし、スウェーデン政府は、個別の場合において、一回限りの入国について有効な滞在許可又は査証を付与する権利を保有する。

二 滞在許可又は査証を付与された日本国民は、その許可又は査証が有効である期間中は、特別な許可又は査証を取得することを要求されることなく、スウェーデンへのいかなる回数の入国についても権利が与えられる。

三 スウェーデン政府は、前記のことを終了させることを希望する場合には、日本国政府に対して書面による一箇月の予告を与える。

千九百七十年十月二十三日に東京で

(Swedish Note)

The Royal Swedish Embassy presents its compliments to the Ministry of Foreign Affairs and has the honour to inform the Ministry that the Government of Sweden will apply from December 1, 1970, the following measures with respect to Japanese nationals holding valid Japanese passports:

1. Permits of sojourn and/or visas when required and granted, shall be free of charge and valid for a minimum period of twelve months from the date of issue, provided that the Government of Sweden retains the right to grant permits of sojourn and/or visas valid for a single entry in particular cases.

2. Japanese nationals who have been granted permits of sojourn and/or visas shall be entitled to any number of entries into Sweden during the period for which the permit and/or visas is valid without being required to obtain special permits or visas.

3. The Swedish Government, in case it wishes to terminate the foregoing, will give one month's written notice to the Government of Japan.

Tokyo, October 23, 1970

スウェーデン側口上書

査証料等の免除及び数次入国査証の付与

査証等の免除

終了の通告

（参考）

この取極は、日本国とスウェーデンとの間で査証料の免除及び数次査証の付与を行なうことを相互に通報したものである。